

はごろも

平成三十一年 一月 八日
発行者 校長 仲村 宗男

通録22号

新年のお慶びを申し上げます

あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、皆様方のご多幸を心からお祈り致します。

さて、一月六日には、八百八十一名のはごろもつ子が目を輝かせて、元気に登校してきました。「一年の計は元旦にあり」と言われます。一年の始めにあたり、目標を持ち、それを達成させるため、計画的に努力させたいものです。

美底の山（みそこやま）から上る日の出を見て、こんな歌を詠みました。

『**亥年ぬテイダ（太陽）**には**はごろもつ子の育ち願てい**、**肝心合わち** **ちばてい**行かな』

はごろもつ子の成長を願い、一人一人の夢の実現に向けて、職員や保護者、地域の皆様方と心一つにして頑張る所存です。宜しくお願い致します。

さて、始業式の校長講話で、将来の夢や希望を持つことの大切さについて、話をしました。

三学期は、学年まとめの学期です。

「**せい**んが**ち**が**つ**は**つ**は、**せい**げ**そ**て**て**い**く**」

と言われるほど、三学期は、あつという間に過ぎていきます。三学期は、一年で一番短い学期ですから、より計画的に過ごすことが大切です。そのためには、将来の夢や一年間頑張りたい目標を決めて学校生活を送ることを話しました。人はなりたい者にしかなれません。なりたいと思わなければ何にもなれません。目的意識を持つことが大切です。将来、我が子は何になりたいと考えているのでしょうか。将来への夢や希望を持たせたいですね。お子様とこのことについて話し合ってみてください。

また、昨年十一月末、**Web実力テスト**という県一斉のテストが実施されました。その出題傾向として

- 一年生は、三年生は、現学年（3年生）の学習内容からの出題されています。
- 二年生は、三年生は、現学年（4年生）の学習内容からの出題されています。
- 三年生は、現学年（5年生）の学習内容からの出題されています。
- 四年生は、現学年（6年生）の学習内容からの出題されています。
- 五年生は、現学年（6年生）の学習内容からの出題されています。
- 六年生は、五年生の出題がかなり多く出題されています。次いで三年生・四年生の出題が多い。

ことがわかりました。このことから、現学年及び中学年で教わったことを家庭でおさらい（復習）すること、繰り返し学習で定着するよう、保護者と協力していきたいと考えます。

三学期は五十二日間（六年生は五十一日間）と短い期間となりますが、子どもを深く理解し、温かさで厳しさとのバランスの中で子どもを励まし、夢と生きがいのある充実した学校生活を過ごさせたいと思えます。

職員一同、力を合わせて「わかる授業」を推進し「知・徳・体」のバランスのとれた児童の育成に努めていきたいと思っております。ご支援・ご協力をお願い申し上げます。



6学年「書初会」
(平成31年 1月7日)

一月の行事

- ① 一月十四日 成人の日（公休日）
- ② 一月十七日 授業参観日（二・三校時）
- ③ 一月十七日 情報モラル講話（四校時）

講師：新垣和哉氏
【沖縄県警本部】



児童玄関に設置された
手作りの門松

コミュニティ・スクールに関するQ&A

Q なぜ、コミュニティ・スクールを導入するのですか？



宜野湾市では、平成27年8月に「学び合い、未来を切り拓く人材の育成」を基本理念とした「宜野湾市教育振興基本計画」を策定しました。

本計画で目指す「生きる力を育む“ひとづくり”」「学校に関わる人たちが活動をおしてつながる“学校づくり”」「地域が学びをおしてつながる“まちづくり”」実現のための仕組みとして、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入するものであります。